

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立石森小学校教諭 6学年 鈴木 理英

実施年月日：令和5年6月30日 13名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、「税金」「消費税」という言葉を知っており、その消費税が8%や10%であることなどを知っている児童もいた。しかし、その働きや使われ方を明確に理解している児童はほとんどおらず、「何のために、消費税を払っているのか。」と疑問を持っている児童もいた。そこで、本単元では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解し、税金の必要性についての正しい知識を身に付けて、自分たちの生活と税金の関わりについて気付かせていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみと税金の働きについて調べ、税金が私たちの生活とどのように関わっているのかを理解する。	○ <u>税金の働きについて調べましょう。</u> ● 税金にはいろいろな種類がある。 ● 国の税金の集められ方や使われ方は、選挙で選ばれた国会議員が決める。 ○ <u>増税についてA党とB党のどちらを選ぶか考えましょう。</u> ● お年寄りが増えているから、医療費などのことを考えて、増税したほうが良い。 ● 消費税を増やすと、買い物などをするのを我慢する人が多くなると思うので、増税しないほうが良い。 □ 教科書 P26～27 社会科資料集（光文書院）P16,19
2	【東日本大震災の発生と震災への緊急対応】 ・東日本大震災の被害の様子や緊急対応について調べる。	○ <u>地震発生直後の市や県、国の動きを調べましょう。</u> ● 市は災害対策本部を設けて、避難所を開設したり、被害状況を確認したりしている。 ● 宮城県や国は、被災地に自衛隊を派遣したり、必要な物資を送ったりするために動いている。 □ 教科書P46～49 社会科資料集（光文書院）P22～23
3	【復興・復旧に向けた国の支援】 ・復旧・復興に向けた国の支援について調べ、復旧・復興のために自分たちが納めている消費税も役立っていることを理解する。	○ <u>復旧や復興に向けて国が行った取組を調べましょう。</u> ● 復旧を進めるために第一次補正予算を成立させた。 ● 東日本大震災復興基本法を成立させた。 ● 国民や企業は、復興特別税を国に納めることになった。 □ 教科書P50～51 社会科資料集（光文書院）P22～23
4	【租税教室】 ・税金と自分たちの生活との関わりを知り、税金の重要性について理解する。 (登米法人会からゲストティーチャーを招いて実施)	○ <u>税金が使われているものと使われていないものに分けましょう。</u> ● 学校、公民館、警察署、消防署などには税金が使われている。 ○ <u>税金がなくなるとどんなことが起こるのか考えてみましょう。</u> ● 町中がゴミだらけになってしまう。 ● 学校の物を使うのにも、お金を払わないといけなくなる。 □ 税のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
5	【標語・絵葉書作り】 ・税金について学んだことを生かし、「税に関する標語」、「税に関する絵葉書」を作成する。	○ <u>税金について学んだことを生かし、標語と絵葉書を作ってみましょう。</u> ● 税金の大切さが分かる標語を作ろう。 ● 税金が使われている建物の絵を描いてみよう。

【指導のポイント】<1時間目>

税金の使われ方について、自分の生活に関わっていることを実感できるように、増税か否かについて考え、話し合わせた。

【指導のポイント】<2時間目>

気仙沼市の様子を定点カメラで撮影した画像を提示し、がれきが撤去され、道路ができ、建物が作られ、町が少しずつ変化していく様子を確認させた。

災害救助法や災害対策基本法についても取り上げ、災害の発生前から、対応するための体制ができていることにも気付かせた。

【指導のポイント】<3時間目>

東日本大震災復興基本法や復興特別税についても取り上げ、税金が、震災からの復旧・復興に必要な不可欠であることに気付かせた。

【指導のポイント】<4時間目>

登米法人会の方をゲストティーチャーとして迎え、税金の基礎知識についての講話をいただいた。1億円のレプリカをお借りし、金額の大きさを実感させた。税金がなくなるとどのような社会になるのかが分かるDVDを視聴し、税金の必要性に気付かせた。

【指導のポイント】<5時間目>

標語と絵葉書を作成することで、税金についての学習のまとめとした。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 租税教室では、クイズやDVDの視聴等を通して、税金の働きを分かりやすく教えていただき、児童の多くは税金の必要性について理解することができた。
- ◎ 税に関する標語や絵葉書作りを通して、税金の大切さを再認識させることができた。
- ◆ 登米市の予算や宮城県の予算を具体的に調べる時間がとれなかった。市や県の税金がどこでどのように使われているのかを児童が家庭学習等で自主的に調べられるように資料を提示したり、市や県のホームページの紹介等をしていきたい。